

## 自治医科大学消化器内科学教室同門会会報 (No. 3)

初秋の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、第3回自治医科大学消化器内科学教室同門会が、平成14年9月7日(土)–8日(日)の1泊2日にて、日光の『千姫物語』において開催されました。7日(土)はあいにくの雨模様でしたが、59名の会員が参加し、熱い討論と楽しい懇親会が行われました。以下その概要をご報告いたします。

午後2時30分より消化器内科学教室同門会セミナーが行われました。内容は下記の通りです。

1. 昨年度学位授与者の研究発表      司 会 消化器内科講師 武藤弘行  
相澤俊幸 『内視鏡的乳頭拡張術後の膵炎発症とその予防  
一時的膵管ステント留置術の意義』  
江田 証 『腸上皮化生の遺伝子異常』  
谷仲一郎 『ヘリコバクターピロリ感染スナネズミの胃粘膜における  
Cdx 1, Cdx 2 の発現に関する検討』
2. 帰国後報告                              司 会 総合診療部助教授 長嶺伸彦  
『セコイアの育つ国に留学して』  
消化器内科 講師 玉田喜一
3. 特別講演                                司 会 消化器内科教授 菅野健太郎  
『自己免疫性膵炎について』  
東京女子医科大学中央検査部 教授 渡辺伸一郎先生

共催：自治医科大学消化器内科同門会  
三共株式会社

昨年度学位授与者の研究発表では、演者の熱弁および会場からの多数の質問等により、時間を大幅に延長した討論が行われました。帰国後報告では、玉田喜一先生が膵臓癌の遺伝子治療および留学環境等について話され、米国の最先端医療の現状をかいま見ることが出来ました。特別講演では、渡辺伸一郎先生が自己免疫性膵炎について、症例を提示しわかりやす

くご講演されました。隣臓学会より診断基準が今冬発表されることもあり、消化器内科医として知っておくべき知識をタイムリーに得ることが出来ました。

セミナー終了後、1回目の記念撮影が行われました。

## (2) 同門会総会

会長の小山博誉先生が、今年度で会長任期の3年となるため、次期会長の選出が行われました。小山中央医院の山中桓夫先生が推薦され、会員の承諾が得られました。小山先生には3年間の同門会会長と長年消化器内科の関連病院である宇都宮社会保険病院の院長を勤められました功績に対し、同門会より花束と記念品の贈呈が行われました。その他、第4回同門会の開催曜日(来年は日曜日)、内容(セミナー、総会、懇親会で継続)、同門会誌(これまでの内容で継続)についての説明と昨年度の会計報告が行われました。

## (3) 懇親会

入浴等の休憩を1時間程とった後、懇親会が行われました。記念撮影は1度行っておりましたが、また新たな気持ちで(多くの方は浴衣姿)2回目の記念撮影が行われました。その後新会長となられる山中桓夫先生のご挨拶、大岡正忠先生による乾杯が行われました。会の途中では、新入医局員が、各自選んだお気に入りの写真をスライドとして映写し、個性のある自己紹介を行いました。最後に菅野健太郎先生よりご挨拶があり、懇親会は終了となりました。その後2次会から3次会へと、皆夜がふけるまで楽しい時間を過ごされました。

翌8日(日)は天気も回復し、ゴルフまたは観光にと、さらに親睦を深めました。運転手以外の皆さんは、帰りの車の中で楽しい思い出を胸に、熟睡されたのではないのでしょうか?

## 事務局より

今回はこれまでと趣向を変え、1泊2日といたしました。時間を気にせず、楽しい時間を過ごせる反面、開催場所が遠くなることや料金が高くなるなどの欠点もありますが、今後も数年に一度は宿泊開催を行っていきたいと思っております。

これからも皆様方のご意見を尊重し、より明るく、楽しく、そしてためになる同門会を開催できるよう努力してまいります。ご意見やご希望等ございましたら、いつでも気軽にご連絡いただければ幸いです。

平成14年9月

自治医科大学消化器内科同門会  
事務局長